

# あかりみらい創立10周年パーティー



2008年1～7月 オール北海道連携の成果 北海道洞爺湖サミット環境総合展

- ・出展企業、団体：333社
- ・事業負担：6千万円
- ・経済普及効果：20億円超
- ・来場者、出展者満足度：約9割

▲北電動務時代から今日までの足跡をプロジェクターで説明する越智氏



▲女性スタッフから花束を受け取る越智氏

創立10周年を迎えたあかりみらいは3月31日、すずきの「ミュージックパブはるもに」で記念パーティーを開いた。取引先や越智文雄社長の知人、社員、札幌なにかができる経済人ネットワーク会員、メディア関係者ら約40人が出席し、楽しいひと時を過ごした。

会場の席数の関係から招待客は絞らざるを得なかったが、越智氏の人脈の幅広さをうかがわせるパーティーだった。越智氏と旧知の間柄である新冠町の廣島功氏は、建設業とともに越智氏の提案で始動したダムトンネルを使用したワインの熟成・販売を手掛ける北海道日高ブランドを営する。

「優良企業（北電）を退職して起業したのには驚いたけど、会社が10年もてば20年も大丈夫。さらなる発展を願っている」と挨拶。衆議院議員の松木謙公氏も「いま、LED

の普及にとっても力を入れておられる。この流れを全国に広めてほしい」とエールを送った。

このほか、片山さつき参議や伊東良孝衆議ら多くの国会議員や道議、市議からも祝電、メッセージが寄せられた。北海道倫理法人会元会長で料理研究家の星澤幸子さんも、こう祝辞を述べた。

「この10年ですいぶん時代の変遷を見たような気がする。だけど人の心の温かさは変えたくない。こうして皆さんが越智さんのお祝いに駆けつけてくださったのは非常にありがたいこと。10年前に会社員だった人が熱い想いで北海道から全国へと事業を広められ、国のため、地方のためと奔走されている。これからもみなさんで応援してあげてほしい」



▲ダンサーは星澤幸子さん

越智氏はプロジェクターを用いながら、有珠山噴火の際に北電で危機管理に携わったことに始まり、事務局長を勤めたサミット環境展や東日本大震災、ブラックアウト、東京五輪でも披露された雪水桜プロジェクトなど起業から今日に至るまでを足早に説明。最後にLED事業の全国展開と沖縄支社設立を報告した。